

③正式に再開発事業を支援する方針を決定していないが、令和3年2月に北街区準備組合から再開発計画の提案があった。アドバイザリー会議で意見を聞き、再開発の可能性を検討する。

**千住大川端の「今」を生かして**

**【問】**千住大川端地域のA工区には、今後約1千800戸の住宅が建設される。この場所は関東最大級のスケートボード場があり、貴重なスポーツ施設等を生かすとともに、買い物施設等の建設も考えるべきではないか。

**【市街地】**地権者から開発計画は住宅を中心とし一部に店舗等を基本に進めると聞くが、具体的には決まっていない。今回提案の施設整備は地権者に伝える。



**社会参加の基となる住居を守れ**

**【問】**コロナ禍で、国が住居確保給付金の失業要件を外し、利用は格段に伸びた。再就職支援の枠組みを外し、所得条件も緩和して、普遍的な住宅手当として恒常化するよう国に求めるべきだがどうか。

**【足立福祉】**給付金は感染拡大に伴い、要件緩和等が行われ、申請対象者が拡大している。一方、新規決定数は令和2年6月の339件をピークに下がり、今年度は月に40件程度にとどまるため、恒常化を国に求めることは考えていない。

**足立区議会立憲民主党**

**コロナ対策、区民生活を支える政策を!**

**立憲民主党 おぐら 修平 議員**

**コロナ禍できめ細やかな施策を**

**【問】**区は令和4年度の行財政運営方針の基本的な考え方として、「コロナ禍により厳しい状況にある区民に対し、きめ細やかな支援を行う」と最初に掲げた。まさに、きめ細やかな施策を最重点施策として取り組むべきだが、具体的な施策等について、区長の決意を伺う。

**【区長】**きめ細かさを実現するために、実態把握が必要である。ただ、すべての業種業態が厳しいという状況ではないので、本当に必要なところに支援が届くきめ細かさを施策に落とし込めるよう、努めていく。

**水害時の避難先を確保せよ**

**【問】**東京東部低地帯に位置する江東5区では、江東5区大規模水害広域避難計画を策定する等の対策を進めている。大規模水害発生時に、埼玉県等の自治体や5区以外への避難体制を、都や近隣自治体と協議し、具体的な避難計画の策定や、避難場所の確保に努めるべきではないか。

**【総合防災】**都は令和3年9月に、渋谷区にある国立オリンピック記念青少年総合センターを浸水区域外に避難する広域避難先として確保した。引き続き、国や都、埼玉県、江東5区等とともに、具体的な避難計画や避難場所について協議する。

**官民協働で広範囲に届く支援に**

**【問】**中野区では、社会福祉協議会や困窮者支援団体、企業等が協働して食糧支援と相談会を実施した。足立区でも社会福祉協議会と協働し、官民一体となった食料支援等の実施に向けた検討をしてはどうか。

**【福祉】**中野区等の先進事例の手法も参考にし、官民協働による食糧支援等を検討する。



**今後の第6波に備えよ**

**【問】**令和3年9月30日に緊急事態宣言が解除されて以降、感染者は落ち着いていたが、今後の第6波に備え、PCR検査をいつでも誰でも受けられるよう検査体制を拡充するべきではないか。

**【衛生】**国は健康上の理由等によりワクチン接種できない方や、感染拡大の傾向がみられる場合に都道府県の判断により、感染の不安がある無症状者に対し、無料で検査を行う方針を示した。これを受け、都が具体的な制度設計を示し次第、できる限りの対応を取れるよう準備する。

**足立区議会議会改革を全力で推し進める会**

**公的責任をしっかりと果たし 住民を助ける区政へ転換を**

**議会改革推進 土屋 のりこ 議員**

**常勤職員を増やし、強い体制に**

**【問】**公務員を増やすことは、公共サービスの充実や雇用の安定につながり、住みやすい街となり人口も増える。常勤職員数を増やし、住民の声を耳を傾けた食料支援等の実施に向けた検討をしてはどうか。

**【区長】**臨時的な業務を想定して、常勤職員を増員する考えはないが、必要な業務には、職員の増員を図る。その中で、臨時的な業務にも柔軟に対応する。職員は常に区民の声に寄り添い対応していると考えるが、指摘を受けたいよう頑張っていく。

**労働者協同組合法施行に向けて**

**【問】**労働者協同組合法が施行される。公共サービスの担い手として、協同労働を各部署がイメージできるように勉強会を開催し、部署横断的な検討会の設置を求めるがどうか。

**【政策経営】**労働者協同組合法については現在、国で具体的な取り扱いを検討している。国や都の動きを注視しながら、他自治体の情報を収集し、検討会等の設置を検討していく。

**【学童保育室従事者の処遇改善を】**

**【問】**令和3年9月の分散登校時、各学童保育室は区が求めた開室延長の対応をしたが、経費の加算が無い。実際の費用分を加算すべきではないか。

**無 会 派**

**北千住駅前をたばこの煙から守る。灰皿撤去実現へ**

**無 会 派 中島 こういちろう 議員**

**スマートフォン社会に向けて**

**【問】**北千住駅前出口前に灰皿があるため、歩道に喫煙者が滞留し、通行の妨げになっていることや、煙が駅構内に流入していること、不満の声が挙がっている。先の決算特別委員会で私の要望に心え、区は対策を行ったが改善が見られないため、禁煙特定区域の指定エリアに含める等、さらに踏み込んだ対応をすべきではないか。

**【地域】**該当地向パトロールや張り紙の増設を行い、灰皿の設置者に対して喫煙者が公道に溢れないよう、灰皿の撤去要請を行った結果、当面の間、灰皿を撤去してもらえないこととなった。

**【教育指導】**ICTを活用した欠席連絡には校務支援システムとの連携が必要であるため、学校メール配信システムを更改する令和5年度に実現予定である。それまでの間の暫定的な対応方法を検討する。

**【問】**京成関屋駅と牛田駅の乗り換えの際は改札が出る必要があるが、一体型の駅や一体性のある開発を求める声が地域住民から挙がっている。今後、区は都市計画をどのように進めるのか。

**【市街地】**一体型の駅整備は過去にも検討したが、様々な課題から現時点では困難と考える。機会をとらえ、鉄道事業者に意向を確認し、一体整備の動きがあれば、実現に向け取り組む。

**【政策経営】**入力されたキーワード

**【問】**足立区のホームページは情報量が多く、知りたい情報がどこにあるかわかりにくいという声がある。AIチャットボット機能等を用い、必要な情報に分かりやすく届く仕組みを構築すべきではないか。



**介護保険料の負担軽減を**

**【問】**介護保険料の負担感が強いと意見が根強く寄せられている。区民の声を酌み、次期保険料改定で値上げしないために、区はどう検討を進めるのか。見通しと方向性を伺う。

**【福祉】**区ができることは、介護予防の強化等、限定的であるため、国の負担割合を増やすことや介護保険制度の抜本的な見直しについて、特別区長会等を通じて、国や都に要望していく。

**【問】**足立区のホームページは情報量が多く、知りたい情報がどこにあるかわかりにくいという声がある。AIチャットボット機能等を用い、必要な情報に分かりやすく届く仕組みを構築すべきではないか。

**【問】**足立区のホームページは情報量が多く、知りたい情報がどこにあるかわかりにくいという声がある。AIチャットボット機能等を用い、必要な情報に分かりやすく届く仕組みを構築すべきではないか。